

南国市にまつわる 歴史の不思議な話

蔵福寺島 大島宏幸 寄稿

郷土の歴史といえば、「蔵福寺島は長曾我部地検帳に蔵福寺を中心に北に番匠屋敷をはじめ十二、三軒がみえ」とあることぐらいの知識と歴史作家の司馬遼太郎氏が郷土史家と国分川の土手を歩く写真を見て長曾我部元親に関心を持ち岡豊山に登り、歴史民族資料館に入り、その著書「夏草の賦」を読んだ程度の関心であった。

この度、郷土の不思議集十話の著者和田義許氏（元南国市役所総務課長）から地名の起こりや天皇の日記が語る常通寺宝塔の修復、比江の廃寺は奈良法隆寺と同規模の寺であった、物部川の名の由来等、南国市にまつわる歴史の不思議な話を聞かせて頂き、この秋の旅行はおかげで平成遷都千三百年際のイベントとは別にまた違った古都奈良が体験できそうである。



南国市にまつわる歴史の不思議な話を聞く（岩村ふれあいセンター）

日章小PTDC サミット

六月二十二日（火）日章小PTDCあゆみサミットが開催されました。

これは児童代表とPTA（学校・保護者）と地域の方々との交流会で学校の取り組みを地域の人々に知ってもらう、児童の取り組みを地域の人々に協力してもらおうなどの目的で年三回開催されています。

学校からは西村校長と北川教頭、保護者代表として藤宗PTA会長始め四名、児童代表として六年生が六名、地域からは公民館館長や公民館運営審議会会長など八名が参加。岩村からは島崎宏明公民館館長、田所秀二公民館運営審議会会長、和田則雄地域安全推進委員、傍土功香南地区補導委員が参加しました。

児童からは「八のつく日にはあいさつ運動をしていますので、地域のひとにも出来るだけ参加してください」「今年もアルミ缶やプルタブを集めていますので回覧板を回すなどの協力を



地域と学校をつなぐPTDCあゆみサミット

公民館にお願いします」と元氣よく発表した。
学校からは「学力向上のための学校改善プラン」として、日章小は全国平均を上回っているがさらに上を目指している。また、外国語活動として英語活動が四年生以上を対象に始まることなどが知らされた。
地域からは子ども会活動などに公民館を上手に使ってほしいと提案があり、地域と一緒に今後の取り組みが期待されるサミットとなりました。